


### 第49回あしや山まつり

問い合わせ 経済課 ☎3820033

がんばれ東北復興支援ハイキング  
— 新緑のなか、ハイキングとイベントを楽しもう! —

【ハイキング】  
■日時 5月29日(日)雨天中止・小雨決行/午前8時45分・山手夢保育園(阪急芦屋川駅北側)出発 ■内容 山手夢保育園 柿谷 ころころ岳 奥池遊びの広場 5km・約2時間  
【山まつりイベント】  
■日時 5月29日(日)雨天中止・小雨決行/午前11時~午後2時 ■会場 奥池遊びの広場(駐車場あり) ■内容 健康体操・チャリディング・音楽・抽選会 先着1,300人に記念バッジを進呈します。



昨年(2010年)の山まつりの様子

### 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244  
✉ashiya-tanzakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【ロビーギャラリー】 森川初美 抱き人形展  
■期間 5月18日~6月26日 月曜日休館 午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)・最終日は午後3時まで) ■内容 人形作家・森川初美(1949年神戸生まれ、Y芸術学院人形講師)の抱き人形作品を展示 ■入館料 300円

【文学館講座】 作家・柳谷郁子が語る 名作の愉(たの)しみ  
■日時 5月26日(木)午前10時30分~正午 ■会場 講義室 ■内容 島崎藤村「破戒」 ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 電話・ファクス・メールで上記へ

### 公民館音楽会 李亜輝・二胡コンサート

東北地方太平洋沖大地震支援チャリティーコンサート  
~二胡で旅する、美しきふるさと~

■日時 6月11日(土)午後1時30分~3時 ■会場 市民センター音楽室 ■出演 李亜輝(二胡奏者)・富田裕三子(ピアノ)ほか ■曲目 シルクロード/里の秋 ほか ■義援金 500円 ■申し込み 事業名・住所・氏名・参加人数(1人または2人)・電話番号を記入し、5月27日(金)までに、はがきかファクスで下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998  
(〒659-0068 業平町8-24)




李 亜輝

### 水防訓練を実施します

消防本部では、梅雨の出水期を前にして水防訓練を、次のとおり実施します。

■日時 5月24日(火)午前10時~11時  
■場所 潮芦屋ビーチ西側  
■参加機関 芦屋市・消防本部・消防団

問い合わせ 消防本部警防課 ☎32-2345




### ジャケットデザイン 50-70's ジャケットでめぐる昭和

今から約60年前にラジオ関西が始めた「電話リクエスト」。村上春樹の『風の歌を聴け』にも登場した通称「電リク」は、戦後の若者文化に1つの大きなうねりを作り出しました。本展では、当時の番組を再現したレコードコンサートも開催予定。約200点のジャケットに囲まれながら、あのころに旅しませんか?

■日時 5月28日~7月18日(月・祝)  
午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)  
(月曜日休館\*月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館日)  
■観覧料 一般300円・大生200円・中学生以下無料

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434



### 北村真理さん・塩谷美琴さんが学生親善使節に!

問い合わせ 国際交流・市民参画担当 ☎38-2008

学生親善使節の業務がスタートしたのは、昭和三十九(一九六四)年からです。今まで百八十八人のかたが、学生親善使節としてお互いの市を訪ねています。今年八月にモンテペロ市内の家庭(一週間ごと三家庭)でホームステイし、市長表敬訪問・二世バレットなどの交流事業に参加します。本年度の学生親善使節に選ばれたかたは、次のとおりです。

【北村 真理さんの抱負】  
今年度、学生親善使節に選ばれました大阪教育大学1回生の北村真理です。私は、現在大学でピアノを専攻しています。素晴らしい芸術家たちを輩出した、自分の街「芦屋」。そして、その芸術家たちが好んだ芦屋の魅力を、自分の演奏を通して、モンテペロのかたがたに伝えたいと思います。

【塩谷 美琴さんの抱負】  
芦屋市の学生親善使節としてモンテペロ市へ送り出していただけるとの事で、いまだに驚きと喜びを隠せません。私はモンテペロ市に行ったら、いろいろな人とコミュニケーションを取りたいです。そして、個人的な希望では、アメリカのマンガを読みたいです。私が描いたものも持って行けたらな、と思っています。

5月24日はモンテペロ市との姉妹都市提携の日  
昭和36年(1961年)5月24日、芦屋市とモンテペロ市との姉妹都市提携式が挙行されました。同年には芦屋姉妹都市協会(現NPO法人芦屋市国際交流協会)が発足し、両市民の交流も活発になりました。春先のモンテペロバラ園(岩ヶ平公園内)には、同市から寄贈されたバラが咲き誇ります。今年も、姉妹都市提携50周年を迎え、今後ともますます活発な交流とさらなる友好が期待されます。

### 第47回モンテペロ市学生親善使節が決定しました

東北地方太平洋沖地震・被災地支援

四月二十八日現在の、本市の被災地支援の取り組みについてお知らせします。

《職員等の派遣》  
避難所管理運営支援の第六陣・第七陣として、宮城県石巻市へ職員各二人・計四人を、四月二十一日から五月四日まで派遣しました。また、応急給水支援として、四月二十八日から五月三日まで、岩手県盛岡市へ職員一人を派遣しました。

《義援金をお渡ししました》  
「東北地方太平洋沖地震災害義援金募集委員会」では、市民の皆さんからお寄せいただいた義援金五百万円を、四月二十三日、同市の支援に派遣した本市職員から、石巻市長へお渡ししました。なお、募金活動は引き続き行いますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

《被災地からの近況報告》  
避難所となつている石巻市立山下小学校では、四月二十一日、同校の入学式および給食式が行われました。学校では、通常授業から、四月二十五日から、通常授業を開始するべく、準備を進めていました。《避難者登録への取り組み》  
県では、このたびの東北地方太平洋沖地震により県内に避難されたかたについて、地元被災自治体から直接、支援情報や復旧・復興情報を提供できるよう、県内避難者の登録を行っています。市内に避難されているかたで、登録をご希望のかたは、行政経営課へご連絡ください。

問い合わせ 行政経営課 ☎3820005



石巻市立山下小学校

### 「第4次総合計画(基本構想・前期基本計画)」の頒布

「第4次総合計画」は、平成二十一年度から公募市民四十七人で構成する市民会議を実施し、私たちの計画として市民と行政との協働で策定しました。本計画は、平成二十三年度から三十一年度までを計画期間とし、総合的な芦屋のまちづくりの指針となる市の最上位の計画です。本年度からスタートする本計画は、すでに本年度の「施政方針」にも反映されており、施策の基本方針や具体的施策として示されています。また、いくつかはすでにスタートしている事業もあります。将来の芦屋のまちが、「自然とみどりの中で生き生きと育み、新しい暮らし文化を創造・発信するまち」であることを目指し、市では「私たちの計画」を皆さんとともに進めていきたいと考えています。市では、このたび「第4次総合計画」の冊子発行し、市役所北館1階の行政情報コーナーで頒布(千円)・また市ホームページでもご覧いただけます。ご希望の方はお取り扱い(下記参照)もしています。同時に「概要版」も発行しており、こちらは行政情報コーナーで無料配布しています。

「第4次総合計画(基本構想・前期基本計画)」の頒布  
■規格 A4判・200ページ  
■定価 1,000円  
■頒布場所 市役所北館1階の行政情報コーナー  
\*郵送での申し込みは、現金書留に代金1,000円と返送用340円切手を同封の上、行政経営課 〒659-8501 精道町7-6へ


「概要版」(A4判・16ページ)は、頒布場所で無料配布しています。第4次総合計画の詳細は、市ホームページでもご覧いただけます。  
http://www.city.ashiya.lg.jp/gyousei/plan2020/plan/mokuji.html

### 男女共同参画週間記念事業 映画「ハーモニー ~心をつなぐ歌~」

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023  
(〒659-0092 大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)

国の男女共同参画推進本部では、毎年六月二十三日から二十九日までの一週間を「男女共同参画週間」と定め、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。本市では、この週間の取り組みとして、実在の韓国女子刑務所合唱団を描いた映画「ハーモニー」心をつなぐ歌」を主演キム・ユンジンの上映会を開催します。この映画を通して、心に傷を抱えながらも、歌を通じて生きる希望を見出した女性たちの葛藤と再生について、共に考える機会となることを願っています。多くのかたのご参加をお待ちしています。

■日時 6月26日(日)午後2時開演(1時30分開場)  
■会場 ルナ・ホール  
■定員 先着600人<要整理券>  
■観覧料 2歳以上の就学前児・20人(1人300円)  
■申し込み 往復はがきに、住所・参加希望者全員の氏名(1枚2人まで)・電話番号、託児希望者は、子どもの名前・年齢年齢を記入し、6月10日(金)までに、上記へ



### みんなで歌いましょう

■日時 5月20日(金)午後1時30分~3時  
■会場 美術博物館講義室  
■指導 加藤純子(歌)・沖倫子(ピアノ)  
I LOVE ASHIYA  
■定員 50人  
■参加費 500円  
歌集「愛唱歌(野ばら社)」をお持ちでないかたは、歌集代1,000円が別途必要




### 5月16日から 全国瞬時警報システムの運用を開始

問い合わせ 防災安全課 ☎38-2093

全国瞬時警報システムは、国(消防庁)が発した時間に余裕のない緊急事態の情報を、通信衛星を経由し自動で市の防災行政無線を直接起動し、お知らせするものです。本市では、このシステム運用を5月16日(月)から開始します。

【伝達される情報】  
■地震情報 緊急地震速報等  
■津波情報 津波警報・津波注意報  
■気象情報 警報等

《注意事項》  
これらの情報は、自動的に放送されるシステムのため真夜中でも放送されます。このシステムは、国のコンピューターが人の手を介さず自動的に発信するシステムのため、誤報の可能性があります。その場合は、「誤報キャンセル放送」が流れます。緊急地震情報の場合、震源が近い時や直下型地震の場合は、放送が間に合わないことがあります。強風や雨などの気象条件や、住宅の遮音性の向上、地形などにより情報が聞き取りにくい場合があります。訓練や、機器の調整のため試験放送を行う場合があります。



### 「芦屋のまちづくりの基本方針と目標とする10年後の芦屋の姿」

基本方針	目標とする10年後の姿
人と人がつながりあって新しい世代につながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる</li> <li>多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている</li> <li>お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている</li> <li>子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育っている</li> <li>地域で安心して子育てができている</li> <li>市民が心身の良好な状態を維持して過ごしている</li> </ul>
人々のつながりを安全と安心につながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者や障がいのある人が生き生きと安心して住み続けられる、まちぐるみの支え合い・助け合いが進んでいる</li> <li>1人1人の意識やまちの雰囲気暮らしの安全を支えている</li> <li>まちの防災力が向上し、災害時に的確に行動できるよう備えている</li> </ul>
人々のまちなみ大切にす心や暮らし方をまちなみにつなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>花と緑に彩られた美しいまちなみが自然と調和している</li> <li>環境にやさしい清潔なまちでの暮らしが広がっている</li> <li>交通マナーと思いやりがまちに行き渡り、市内が安全に安心して移動できるようになっている</li> <li>充実した住宅都市の機能が快適な暮らしを支えている</li> </ul>
人々と行政のつながりをまちづくりにつながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼関係の下で市政が展開している</li> <li>経営資源を有効に活用し、健全な財政状況になっている</li> </ul>

### げんきいっぱい! みんなの幼稚園

預かり保育

今年四月から小穂幼稚園・朝日ヶ丘幼稚園・潮見幼稚園の三園で、預かり保育が始まりました。子育て支援の一環として、通常保育が終わってから午後四時三十分まで実施しています。春休み・夏休み・冬休み期間も、午前九時から午後四時三十分まで実施します。

預かり保育を受ける子どもたちは、通常保育が終わると、担任の先生や降園する友達とさよならをして、預かり保育室に行きます。預かり保育室では、指導員の先生がたが温かく出迎えてくれます。小穂幼稚園はコア組、朝日ヶ丘幼稚園はパンヒ組、潮見幼稚園はイルカ組とクラス名も決まっています。預かり保育では家庭的な温かい雰囲気大切に、子どもたちが安心して過ごせるように配慮しています。

預かり保育室には置のコーナーがあり、「少し疲れたかな?」「お昼寝したいな」という子どもが横になれたり、靴を脱いで遊んだりできるようになっています。

プロックやままごとセット、お絵かきなど、家庭でよく遊ぶおもちゃも用意してあり、自分のしたい遊びを選んで、先生やお友達と一緒に遊びます。幼児期は個人差が大きい時期なので、先生が一人ひとりの子どもと体の状態を見ながら、丁寧にかかわっていきます。

また、預かり保育では同じ保育室で、四歳児と五歳児と一緒に生活します。五歳児は四歳児の面倒を見たり、遊びに誘ったり、お兄さん・お姉さんらしさを発揮したりしています。四歳児は、そんなお兄さん・お姉さんにあこがれを持って、興味や関心を広げていきます。

預かり保育は始まったばかりですが、これから子どもたちが健やかに育ち、お母さんやお父さんのかたがたが元気に子育てができるように、幼稚園ができる。子育て支援について考えているかたには条件がありますので、詳しくは実施園または教育委員会管理課へお問い合わせください。

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎382085

新しい芦屋のまちづくり 「第4次総合計画」がスタートしました

問い合わせ 行政経営課 ☎3820005